

別紙

【岡崎嘉平太(1897年-1989年)略歴】

岡崎嘉平太は、1897年(明治30年)、岡山県に生まれ、岡山県立岡山中学を卒業後、東京の旧制第一高等学校から東京帝国大学法学部に進み、1922年(大正11年)に同大学を卒業し、日本銀行に入る。

日本銀行時代には、ベルリンや上海に滞在、戦後、産業界に身を転じ、日本の産業界の復興や新しい技術開発の振興に多大な貢献をするとともに、1952年(昭和27年)には、全日本空輸株式会社の前身である日本ヘリコプター輸送株式会社の設立に加わり、1961年(昭和36年)から1967年(昭和42年)まで、全日本空輸株式会社の2代目社長を務めた。

学生時代の中国からの留学生との交わりから中国に深い関心を寄せ、生涯を通じて日中の友好と共栄の理想を胸に尽力する。戦後、本格的に関わるようになったのは1962年(昭和37年)に日中覚書貿易(LT貿易)交渉の責任者として北京を訪問してからである。その時周恩来首相と知り合い、それ以来、周氏と親交を結ぶようになり、中国との友好関係の促進と確立に寄与した。

賀陽町(現吉備中央町)名誉町民(1972年)、勲一等瑞宝章(1978年)、総社市名誉市民、岡山名誉県民(1985年)などの称号を受ける。

【特別展会場案内図】

羽田空港国内線第2旅客ターミナル3階「ディスカバリーミュージアム」

